

湖西市

DX 推進課

情報提供依頼項目: 閉域網（LGWAN 系）ローカル生成 AI 基盤の実証およ び機器等選定に係る RFI

湖西市 DX 推進課

目次

1. 回答時の前提	2
2. 仕様書の章・要件に対応した質問項目	2
2.1 機器等に関する情報提供依頼（要求仕様書第 6.1 節に対応、回答をお願いしたい項目）	2
2.2 任意の情報提供依頼（要求仕様書第 6.2 節に対応、調達の約束を伴わない）	3
2.3 その他の要件に関連する任意の情報提供依頼（要求仕様書第 6.3 節・第 6.4 節に対応）	3
3. ゲート・進め方に関する質問項目	4
4. 体制・窓口・長期支援に関する質問項目	4
5. 回答様式の案内	4

本書は、「情報提供要領」の別紙として、回答をお願いする質問項目を整理したものである。各項目には項目 ID（item_id）を付し、可能な範囲で対応する「要求仕様書（RFI 版）」の章番号を併記する。事業の背景・課題・要件の詳細な内容は要求仕様書（RFI 版）を参照すること（本書では再掲しない）。

1. 回答時の前提

- ・ 本 RFI において貴社に情報提供・提案をお願いする範囲は、機器等（GPU サーバー等）の提供、搬入・設置・配線・機器単体の初期正常性確認、および機器保守（ハードウェアの故障診断・部品交換等に限定）である。OS 以降の構築およびソフトウェアの運用は発注者（湖西市）が内製で行う。
- ・ 各質問は「対応可能性」「前提条件」「概算」「代替案」「実績」「制約」等の観点で、具体的根拠を伴う回答を歓迎する。
- ・ required: true の項目は本 RFI の主目的（機器等の情報収集）に関わる質問、required: false の項目は任意の情報提供であり、いずれも本 RFI は事業者の選定・採点を行う手続ではない。
- ・ 様式は自由記述で差し支えないが、item_id を明記のうえご回答いただきたい。

2. 仕様書の章・要件に対応した質問項目

2.1 機器等に関する情報提供依頼（要求仕様書第 6.1 節に対応、回答をお願いしたい項目）

RFI-L2-001（対応: 第 6.1.1 節）事業者情報・実績 / 回答形式: 自由記述 / required: true 貴社の概要、類似規模の GPU サーバー等の納入・保守実績、閉域網環境での構築・運用支援実績について、具体的な件数・時期・概要を付してご教示ください。

RFI-L2-002（対応: 第 6.1.2 節）提案構成（ハードウェア構成案）—比較シナリオ S1～S4 / 回答形式: 表形式 / required: true 比較シナリオ S1（予算重視・GPU メモリ 24GB 級）/ S2（品質・余力重視・48GB 級以上）/ S3（代替アーキテクチャ）/ S4（段階導入）のそれぞれについて、構成案（GPU・メモリ・電源・設置条件等）をご教示ください。シナリオごとに整理してご回答いただけると幸いです。既設無停電電源装置（UPS）との適合可否確認に必要な情報（消費電力・端子形状等）もあわせてご教示ください。

RFI-L2-003（対応: 第 6.1.3 節）モデル・推論性能情報 / 回答形式: 自由記述・数値混在 / required: true 提案構成で稼働可能なオープンウェイトモデルの候補、推論エンジン、比較シナリオ（S1～S4）ごとの想定スループット・同時セッション数の目安をご教示ください。庁内文書の検索と生成 AI による手順生成、および帳票画像の読み取りを伴う処理を想定した場合の性能の目安を含めてください。特定製品への固定を伴わない組合せの柔軟性についてもコメントをお願いします。

RFI-L2-004（対応: 第 6.1.4 節）セキュリティ・ガバナンス情報（SBOM 等） / 回答形式: 自由記述・表混在 / required: true 機器・ファームウェア / OS・ドライバ / コンテナ基盤 / モデルの 4 層それぞれについて、ソフトウェア部品表（SBOM）の提供可否・提供形式、搬入時の名称・版・入手元・ライセンス・改ざん検知用照合値（SHA-256）・署名検証結果・脆弱性検査結果の記録方法、脆弱性対応・更新体制についてご教示ください。

RFI-L2-005（対応: 第 6.1.5 節）閉域運用の実現方式 / 回答形式: 自由記述 / required: true 提案機器・ソフトウェアがインターネットに接続しない閉域網内で完結して動作すること、外部への自動送信・自動更新機能を持たない、または無効化できることの実現方式についてご教示ください。庁外通信を要する機能がある場合は、その機能と無効化方法を具体的にお示しください。

RFI-L2-006（対応: 第 6.1.6 節）構築・移行支援情報 / 回答形式: 自由記述 / required: true 搬入・設置・機器単体の初期正常性確認の実施方法、ハードウェア保守（契約対象機器の故障診断・部品交換等に限定）の条件・対応時間についてご教示ください。あわせて、発注者（湖西市）が OS 以降の構築を内製で行うにあたっての技術支援・引継ぎ方法についてもご教示ください。

RFI-L2-007（対応: 第 6.1.6 節）納入リードタイムの見込み / 回答形式: 自由記述 / required: true 現時点における受注から納品・設置完了までの標準的な所要期間の目安をご教示ください

(2026 年 9 月頃の調達手続開始を想定した場合の納入可能時期の目安を含みます)。回答時点の見込みで差し支えなく、納期の確約を求めるものではありません。

RFI-L2-008 (対応: 第 6.1.7 節) 費用情報 / 回答形式: 指定様式 (見積書様式) / required: true
現予算適合案 (総額 220 万円以内)・推奨充足案 (予算を超える場合はその効果) の 2 案について、機器・搬入設置・初年度機器保守の費用内訳、2 年目以降の機器保守費用の目安、5 年間の機器・設置・機器保守総額の目安をご教示ください。費用は、添付の指定様式「見積書様式 (見積費用総括表)」に 2 案それぞれご記入のうえ提出すること (1 案につき様式 1 部。シートの複製で差し支えない)。内訳が分かる費用見積詳細内訳書をあわせて添付すること。金額は現時点の概算で差し支えなく、契約金額を拘束するものではない。

2.2 任意の情報提供依頼 (要求仕様書第 6.2 節に対応、調達の約束を伴わない)

RFI-L2-009 (対応: 第 6.2.1 節) UC 類似課題に有効な LGWAN 系ローカルソリューション情報 (任意) / 回答形式: 自由記述 / required: false
本項目は任意の情報提供であり、調達の約束を伴いません。庁内文書の閲覧者視点での情報到達性向上、または帳票からの入力候補提示に有効な、LGWAN 系ネットワーク内で完結するローカルソリューションに関する情報があれば、機器と一体のサービスとして提供可能な形態を含めてご教示ください。対応可能性、前提条件、概算費用、実績等、可能な範囲でお示しください。

2.3 その他の要件に関連する任意の情報提供依頼 (要求仕様書第 6.3 節・第 6.4 節に対応)

以下は、発注者が内製で実現する要件 (第 6.3 節) および内製実装事項・参考情報 (第 6.4 節) に関連し、貴社の提案機器・実績に関係し得る情報があれば任意でお願いしたい項目である。貴社に実装を求めるものではなく、いずれも調達の約束を伴わない。

RFI-L2-010 (対応: 第 6.3.1 節) マイナンバー等特定個人情報の取扱いに関連する情報 (任意) / 回答形式: 自由記述 / required: false
本要件 (生成 AI 基盤がマイナンバー相当情報を抽出・保持・出力しない設計) は発注者が内製で実現する事項であり、貴社に実装を求めるものではありません。提案機器・ファームウェアの標準機能に関連し得る情報 (例: ログに記録される情報の範囲、監査ログの出力設定等) があれば、任意でご教示ください。

RFI-L2-011 (対応: 第 6.3.2 節) 権限制御・ログ機能に関連する情報 (任意) / 回答形式: 自由記述 / required: false
本要件 (権限判定ができない場合に検索結果を返さない設計) は発注者が内製で実現する事項であり、貴社に実装を求めるものではありません。提案機器の標準機能に関連し得る情報 (例: アクセスログ・監査ログの出力可否、遠隔監視機能の既定の通信設定等) があれば、任意でご教示ください。

RFI-L2-012 (対応: 第 6.4.1 節) 文書検索・生成処理の想定負荷に関するコメント (任意・参考) / 回答形式: 自由記述 / required: false
本項目は発注者が内製で構築する機能 (庁内の掲示・文書データを対象とした検索と、根拠付き手順生成) の到達目標を、機器選定の参考として共有するものであり、回答は必須ではありません。検索と生成処理を組み合わせた処理特性を想定した場合の構成の妥当性について、実績や知見に基づくコメントがあれば歓迎します。

RFI-L2-013 (対応: 第 6.4.2 節) 帳票読み取り・項目抽出処理の想定負荷に関するコメント (任意・参考) / 回答形式: 自由記述 / required: false
本項目は発注者が内製で構築する機能 (請求書等の帳票画像からの項目抽出と職員確認支援) の到達目標を、機器選定の参考として共有するものであり、回答は必須ではありません。画像認識・項目抽出を伴う処理特性を想定した場合の構成の妥当性について、実績や知見に基づくコメントがあれば歓迎します。

3. ゲート・進め方に関する質問項目

事業者に関係する確認の節目（要求仕様書第 7.2 節参照: 搬入・設置完了時、初期正常性確認時、検収時）について、以下の情報提供をお願いする。

RFI-L3-001（対応: 第 7 章）搬入・設置・初期正常性確認の実施体制と報告様式／回答形式: 自由記述／required: true 機器の搬入・設置・配線・機器単体の初期正常性確認について、貴社における標準的な実施体制・所要日数・確認項目、および完了報告（構成品一覧・設置環境の記録を含む）の様式についてご教示ください。

RFI-L3-002（対応: 第 7 章）検収時提出書類と SBOM 等構成情報の提出タイミング／回答形式: 自由記述／required: true 検収時に提出可能な納品書・検収関連書類、保守受付窓口・連絡体制表の様式についてご教示ください。また、SBOM 等の構成情報（機器・ファームウェア／OS・ドライバ／コンテナ基盤／モデルの 4 層記録）をどの段階（搬入時・初期正常性確認時・検収時等）で提供可能かについてもお示しください。

なお、機器等調達に伴う検収の位置づけ（発注者内部での確認事項とするか、契約・検収手続の中で扱うか）は要求仕様書第 7.4 節のとおり RFP 段階までに発注者内部で確定する。上記 2 項目への回答には影響しない。

4. 体制・窓口・長期支援に関する質問項目

RFI-L4-001（対応: 第 8 章）窓口体制・緊急時エスカレーション／回答形式: 自由記述／required: true 保守期間中の問い合わせ窓口、緊急時のエスカレーション体制（連絡手段、初動対応までの目安時間等）についてご教示ください。

RFI-L4-002（対応: 第 8 章）長期保守・部品供給の継続性／回答形式: 自由記述／required: true 初年度以降（2 年目以降、5 年目程度まで）のハードウェア保守体制の継続可能性、部品供給年数の目安、保守終了後（EOL 後）の対応方針についてご教示ください。

RFI-L4-003（対応: 第 4 章・第 8 章）責任分界（機器保守限定）の実務上の対応可能性／回答形式: 自由記述／required: true 本 RFI における貴社の役割は機器の提供・搬入設置・機器保守（ハードウェアの故障診断・部品交換等）に限定され、ソフトウェア障害の解析・復旧は対象範囲に含みません。この分担で対応可能かどうか、対応にあたっての前提条件や制約があればご教示ください。

5. 回答様式の案内

- RFI-L2-008（費用情報）を除き、様式は自由記述形式（Word・Excel・PDF 等）で差し支えない。各質問項目の item_id（例: RFI-L2-001）を明記のうえ、対応する回答を記載すること。
- RFI-L2-002 は、比較シナリオごとの構成が分かるよう表形式での整理を推奨する。
- RFI-L2-008（費用情報）は、指定様式「見積書様式（見積費用総括表）」（Excel）による提出を必須とする。
- 提出方法・提出期限・問合せ先は「情報提供要領」を参照すること。
- 任意項目（required: false）への回答有無は、事業者の評価・選定に用いない。